

kap

2009年度 第15回
くまもとアートポリス推進賞

KUMAMOTO ARTPOLIS

第15回くまもとアートポリス推進賞の選考を終えて

選考委員長 北野 隆

「くまもとアートポリス推進賞」は、「くまもとアートポリス」事業の一環として、質の高い優れた建造物を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的に、1995年より行なわれている事業です。2009年度・第15回目の事業が実施されました。

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」事業には、総数36点の応募作品がありました。応募作品の用途は専用住宅・共同住宅・病院・工場・保育所・学校・橋梁など、構造は鉄筋コンクリート造・鉄骨造・木造など、規模も大小さまざまでした。

第1次選考の書類審査は、選考委員(7名)が各自の持点10点をA(3点)・B(2点)・C(1点)の3段階に分けて評価しました。各選考委員の評価を集計しますと、作品は分散した結果になり、点数の上位から下位の全作品について討議し、各選考委員の意見も加味しながら、第2次選考の現地審査作品・13作品が選出されました。

現地審査では、設計者へ建築のコンセプトや構造など、事業主には建築の使い方などについて質疑応答がなされました。現地審査では、第1次の書類審査(設計図)では把握できない周辺環境との関係、建築空間の取扱い、素材の感触などが体験できました。

最終的には「推進賞」として「川上酒店」・「光の森の住宅」・「i-CUBE #01」・「畑の中の一軒家」の4作品、「推進賞選賞」として「桜木の家」・「YMCA赤水保育園」・「R-house in 梶尾」・「熊本市下通2・3・4番街アーケード」の4作品が選ばれました。

これら8作品については、選考委員の先生方が詳細な講評を述べられていますから、ご覧下さい。

また、これら8作品について、私なりにそのデザイン手法を分類すると次のようになるように思われます。

○設計者は、はっきりしたデザイン・ポリシーを持ち、そのデザインを追求した作品

「光の森の住宅」、「i-CUBE #01」、

「R-house in 梶尾」

○日本の伝統的建築にこだわりながら、設計者のデザインを加味して現代建築に再生した作品

「川上酒店」、「畑の中の一軒家」、「桜木の家」

○最新の技術を駆使しながら、周囲の環境と融合させた作品

「YMCA赤水保育園」、

「熊本市下通2・3・4番街アーケード」

今年度の「くまもとアートポリス推進賞」の応募作品は、質の高い優れた作品が多く、現地審査作品も13作品になりました。そのため、「推進賞」・「推進賞選賞」も多くの作品が選ばれました。建築的な特徴は、伝統的建築の修復や再生、またそれをイメージした作品が多かったように思います。さらに、設計者も県内だけでなく福岡県や大分県に及ぶなど、その成果が着実に浸透していることが感じられました。

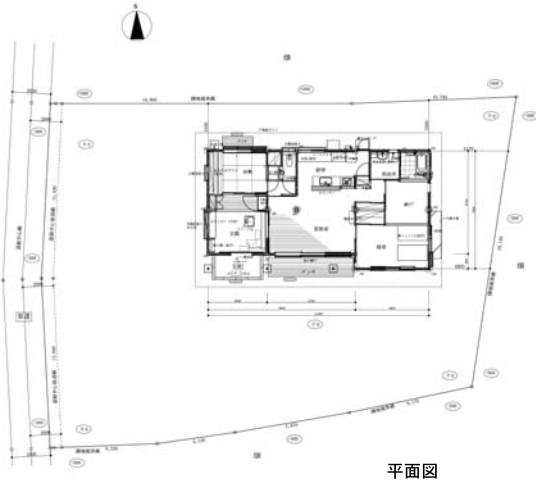




「畑の中の一軒家」



事業主 ■ 山中智広
 設計者 ■ すまい塾古川設計室有限公司
 施工者 ■ 楠元建設有限公司
 所在地 ■ 熊本市梶尾町
 竣工年月 ■ 平成21年2月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 594.61㎡
 建築面積 ■ 113.46㎡
 延床面積 ■ 101.37㎡



平面図



住宅地を抜け、農地の中の細い道を進む。あたり一面ビニールハウスに囲まれたロケーション。その名の通り、畑の中に1戸だけポツンと家は建っていた。犬が走り回りニワトリの鳴き声が響く—そんな光景を思わせるような外観だ。

最も印象深かったのは、玄関を入り、薪ストーブの置かれたたたき土間で靴を脱いで家族室に上がった瞬間だった。古材をふんだんに使った床は足触りが何とも心地良い。家全体が持つ懐かしさ、温かさを一段と増幅させているようだ。

南側に大きく開いた格子網戸とそれに続く縁側は、長い軒が抱え込むように日差しを遮る。阿蘇や矢部など、かつて総支局勤務の時代に取材でおじゃました農家を思い出す。干し柿や正月用のしめ縄をつくる好々爺や老婦人が背中を丸めて座っていそうな風情に、自然と心が和む。

日本古来の建築技法を取り入れた省エネ住宅とうただけあって、竹と土でできた壁や開放された床下、無双窓など自然とともにある家の姿はすがすがしい。それは、生産者(農家)と消費者をつなぐ組織を、との狙いでNPO法人をつくった施主の思いとも深くつながっているようだ。

アートポリス推進賞の審査に初めて加わり、近代的な家や細かな工夫の凝らされた家などを見て回ったが、最も「住んでみたい」と思わされたのが畑の中の一軒家だった。世間よりも少しだけ時間がゆっくり過ぎる、そんな生活が思い浮かぶ。

(土田 隆)



「川上酒店」

事業主 ■ 株式会社川上酒店
 設計者 ■ 長野聖二・人間建築探検處
 施工者 ■ イマムラ店舗工業
 所在地 ■ 熊本市万町
 竣工年月 ■ 平成21年2月
 用途 ■ 店舗
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 建築面積 ■ 55.80㎡
 延床面積 ■ 111.60㎡



1階平面図



周囲には、呉服町・魚屋町・米屋町の地名が並ぶ城下町の酒店。周辺は空き地や軒を閉ざした店舗が目立つ街並みだが、「昔はこんな風情の町家が並んでいたに違いない」と思わせる存在の店舗だ。

当初は下駄屋の店舗として建築されたという築百年を経過する建物が、時を経て「酒店」に生まれ変わった。

間口3間、奥行き5間の店舗は、足元に自然石を敷きこんだ舗装をインフォメーションとし、引き戸の入り口と道路から店内の商品を確認できる縦格子の飾り棚が、町家独特の風情で前面を覆っている。また、2階は戸袋にも見える漆喰の壁に挟まれた窓を、打ち付けた縦格子で覆い、1階部分の小屋根(下屋)に漆喰で留めた瓦を置き、軒下にはめこらしに収めた縦格子を配して、全体を伝統的な意匠で調和が図られている。

職住一体型の町家は、住居部分が2階、1階部分に商品を並べたであろう土間と、畳の部屋で構成されていたものが、新しく生まれ変わって、土間部分に日本酒・焼酎を陳列し、土間から一段上がった畳部屋が新たなワインセラーを配したワイン売り場となった。開口部を持たない部屋は、改築前から天井部に採光を確保する磨りガラスの入った欄間を持っており、そのまま活用することでワインコーナーを囲む縦格子の仕切りとの相乗効果で、レトロな雰囲気が強調されている。

通りがかりに見えるガラスをはめ込んだ縦格子の飾り棚の商品は、一点ずつが木箱に入って並べられたような雰囲気で趣があり、店内に入ると天井の大梁や床梁・縦格子壁の飴色が、得も言えぬ雰囲気を醸し出している。

全く新しい建物ばかりでなく、歴史や伝統を残し、今を息づく古き物の蘇生は、新しいアートを作り出す。このような雰囲気の建物が並ぶと、城下町熊本の「町家再現」ともなり、時代を遡りつつ、現代のモダニズムを感じさせる新しいまちづくりにもなるのではと思われる。

(星子 邦子)



「i-CUBE #01(アイキューブ #01)」



事業主 ■ 株式会社夢工房 和樂
 設計者 ■ ラッツ・アーキテクト株式会社
 施工者 ■ 株式会社夢工房 和樂
 所在地 ■ 熊本市大江
 竣工年月 ■ 平成21年9月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 99.15㎡
 建築面積 ■ 39.74㎡
 延床面積 ■ 79.48㎡



1階平面図



小屋裏階平面図



2階平面図

箱が、ぽつんと置いてある。

熊本市内、住宅密集地区の角地に建つ四角い箱のような建物は、その形状自体が目を引き。外壁面には、様々な機能をもった極小窓が、規則正しく、4×4の16個並んでいる。この素材感と行儀よく配置された小窓が、一辺4間(7,280mm)の正立方体という、オブジェのような不思議な狭小建物の外観印象の全てである。

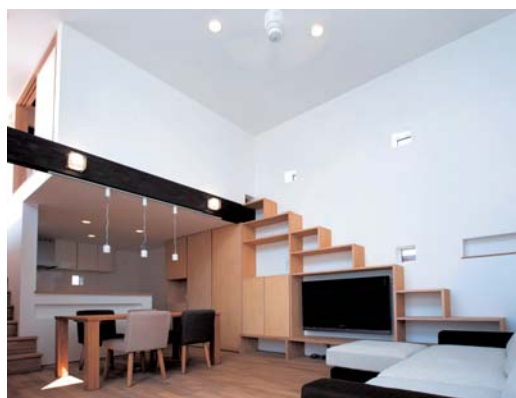
四面が箱の壁に囲まれた内部は、それぞれの用途機能に応じて、パズルのように組み合わせられ、また、1/4をデッキテラスの吹き抜けとすることで閉鎖感や採光への対応も含め、工夫が随所に見て取れる。この空間に、工務店事務所、三人と猫一匹の居住機能を満たしていくことに狭小住宅の面白さがある。猫のための、かわいい仕掛けなどもあり、遊び心も伺える。

昨年の受賞作品との大きな相違は、2.5階と言うか、趣味部屋の設置であろう。この小部屋を設置したことによって、二階部分の雰囲気も面白みが増したし、同時に、この2.5階部分の空間を、1.5階へと移動させるなど、面白い多様な空間設計も可能となってくる。興味深い可能性を感じさせるアイデアである。この発見があって、設計者の言う、今後の展開へのプロトタイプという意味への期待も高まる。

厳しい制約の中での工夫と発見、設計者と施主の共通満足認識がしっかりとできていなければ出来なかった建物とも言えるだろう。

小窓から屋内の灯りがもれている、夜間の外観も見てみたい気がする。いろんな意味で、この挑戦は、進化形であると感じた。

(轟 多朗)





「光の森の住宅」

事業主 ■ 吉森信太郎
 設計者 ■ 株式会社松山建築設計室
 施工者 ■ 株式会社山口工務店
 所在地 ■ 菊池郡菊陽町
 竣工年月 ■ 平成21年1月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ RC造一部W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 498.78㎡
 建築面積 ■ 161.14㎡
 延床面積 ■ 159.19㎡



この家の敷地は不定形で、文字通り四方八方に塞いでくれるものが無い。隣には墓地があり大きな一本桜が生えている。周辺は住宅地ではあるが、この家に関する限り、住宅の敷地としてはかなり不思議な立地環境である。しかし、そこを逆手に取った平面計画の手腕が鮮やかだ。

まず、西には敷地内にオープンスペースを取り、東には南北に続く出会いの道公園の緑道があるが、2枚のコンクリート壁を東西に立てて、外部との連絡を一切遮断してしまう。もっとも道路に近づく北側ももちろん閉鎖してしまう代わりに、家の真ん中に、床一面が水面からなる光庭を取る。浅い水盤の上に一条の水が流れ落ちる音が静かに響くという大変ストイックなものだが、中心に光り庭を取るだけなら、多くのコートハウスと同様のものでも、ことさらに珍しいというものでもない。だが、この家の場合、残された南面、これも前面道路に面し3台分の駐車スペースに面するというかなりドライなものだが、この南面に極めて低い水平横長の下地窓を取り、開口に沿って通り土間を設けたところが秀逸である。

床が道路面から僅かに上がっていることで、なおさら外からは室内に床座している様子が窺えるような構成となっているのだが、こたつに入って表の道路面を眺めると、これが不思議と座り心地がいい。妙な気分だ。と同時に懐かしい感覚がする。昔の街道沿いに立ち並んだ縁側のある民家のような風情である。それがしかし、完璧にミニマルなモダン・デザインで再現されているところが面白い。この敷地での暮らしを元気づけてくれるような楽しさがある。周囲の住宅地が見え過ぎてしまわないところに、どうやらミソがありそうだ。

部屋の内部は平面図から想像する以上に明るい。光庭の壁や水面がリフレクターとして効果的に働いているからだ。北側の寝室群への採光にもうひと工夫あってもよかったかなとも思うが、その分家族が絶えずこの表のスペースに出てくると思えば、それで良いとも言えるだろう。

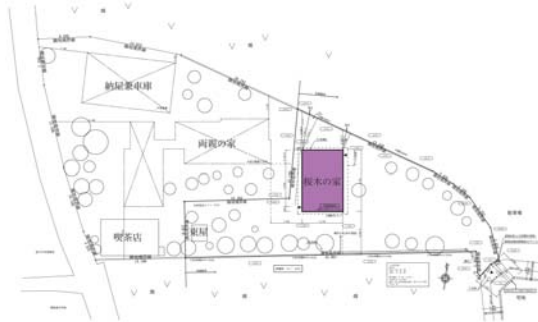
(古谷 誠章)



「桜木の家」

 kumamoto artpolis

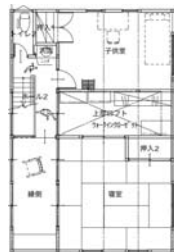
事業主 ■ 村上博
 設計者 ■ 有限会社倉田設計
 施工者 ■ 株式会社夢工房 和樂+村上造園
 所在地 ■ 熊本市桜木
 竣工年月 ■ 平成21年3月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 645.95㎡
 建築面積 ■ 63.97㎡
 延床面積 ■ 121.74㎡



配置図



1階平面図



2階平面図



親子で造園業を営む施主が、和風の母屋、古材で施工した喫茶店、さらに囲炉裏のある東屋について、子供世帯のために庭を締めくくるように建てたのが、今回の蔵風の住居である。

表通りから路地を抜け、庭師に案内されてこの庭を歩く感覚は、あたかも亭主に導かれて茶会に赴くようで何とも楽しい。小春日和の日差しが木々の梢を通り抜けて毛氈のような苔の緑にやさしく揺らいでいる。木立を通り抜けて行き着く先に新居の白壁が建っている。壁の向こう側に回り込んでみると、なんとそちらがこの家の表側の玄関、つまり僕たちは裏口からの珍客だったわけだ。つまり敷地の正反対の方からそれぞれアプローチして、双方のプライベートな部分が庭を介して結ばれた、つかず離れずの二世帯住居だったのである。

既存の東屋などばかりでなく、家の内部にも様々な古い建具が再生活用されている。まったく新築であるにも拘わらず、これらの古材が功を奏して、この庭全体に降り積もる年月とも「対話」ができる家となった。すべてが新調されたものばかりであったら、こう上手くはいかないだろう。この家の施主とは実は昨年の実地審査の折に初めて会った。高齢者のための施設の敷地の一角に、この庭師が手作りした小さな離れがあった。茶席のようなその庵には、やはり古材がさりげなくあしらわれていて、移ろいゆく時の流れを感じさせる何とも居心地のよい空間だったのである。まさに庭に咲く名もない草花を、ひょいと一輪挿しに生けたような絶妙な場所だった。今回の家にも同じように飄々として時の流れを楽しむ風情がある。

しかし、なんといってもこの計画の白眉は、この蔵づくりの家そのものを持って、庭を完結させたところにあるのではないだろうか。これがなければただそのまま流れ出していた庭の景色が、この白壁によってほどよく纏まっている。こんな風に時間をかけて次第しだいに出来上がる空間に、僕はとても共感する。

(古谷 誠章)



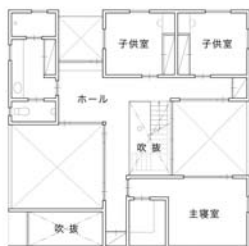
「R-house in 梶尾」



事業主 ■ J・リグビー
 設計者 ■ 西山英夫建築環境研究所
 施工者 ■ 株式会社富坂建設
 所在地 ■ 熊本市梶尾町
 竣工年月 ■ 平成19年8月
 用途 ■ 専用住宅
 構造 ■ S造
 階数 ■ 地上2階
 敷地面積 ■ 206.34㎡
 建築面積 ■ 103.35㎡
 延床面積 ■ 188.52㎡



1階平面図



2階平面図

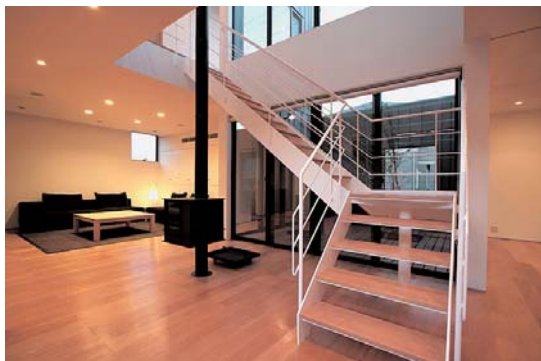
日頃は信州に住まうオーストラリア出身の建て主が、夫人の実家のそばに設けたもう一つの家である。コートハウスの形式は、そんな留守勝ちな家への防犯的な意味と、帰ってくればすぐに使うことのできる利便性を考えて選ばれた形式であることは理解できる。

特に1階において、3つの中庭によって分節しながら繋がっている空間がとても面白いと感じた。外部の中庭のほうが部屋のようにもあり、内部とは透明なガラスの開口部で仕切られているため、内部と外部もまた連続している。対角線上に長い距離の視線の通る空間が面白く、使う状況によって様々な空間に展開できる可能性を感じた。多くの人が集まったときなどとても有効な空間で、この家族のライフスタイルに合っているのだろうと思った。ただ天井まで開けられなかった開口部の扱い(製作上の制約であったのは理解できるが)など中庭と内部空間の一体性をデザインの徹底できなかったのが少し残念である。

2階には中央の階段と吹き抜けによって空間が繋がっている。シャープなデザインの黒い暖炉と煙突の扱いが縦の空間をうまく誘導しているが、それに比べて白い階段のデザインは少し重いように思えた。

外から見たとき、中庭によって3つにボリュームが分節されているので、コートハウスでありながら周辺とのスケールの調整は十分できている。しかし現地を見て、この静かな住宅地のさほど悪くない環境の中で、ほぼ全体を閉じた外観の表現については、もう少し周囲と関係を持たせるやりかたがあったのではないかと感じた。

(元倉 眞琴)





「YMCA赤水保育園」



事業主 ■ 社会福祉法人熊本YMCA福祉会
 設計者 ■ 有限会社風設計室
 施工者 ■ 株式会社東稜建設
 所在地 ■ 阿蘇市赤水
 竣工年月 ■ 平成20年7月
 用途 ■ 保育所
 構造 ■ W造
 階数 ■ 地上1階
 敷地面積 ■ 8,856.65㎡
 建築面積 ■ 817.30㎡
 延床面積 ■ 699.62㎡



平面図

配置図



こんな山深い中に保育園が？と思わせるほど自然の中にひっそりと佇んでいる。まず印象的なのは大きな片流れの屋根だ。方向を南側だけでなく一部を北や西に向けることで、変化のある家の集合体として表現している。それが周囲の自然との良い調和を形づくっている。水平の壁の部分と三角の頂部の材料の切りかえも効果的で、水切りの付け方など細かいところまで良く配慮されている。

プランは2つのゾーンを玄関ホールと一時保育室が繋ぐというH型の単純なもので、どの部屋も広く外部に接していて十分な採光が確保されている。各保育室から広い園庭に繋がるスペースは縁側のような楽しいスペースだ。片流れ屋根の一番低い部分なので、スケールが小さな子供とよく合っている。内部のダイナミックな大きな空間とのコントラストも効果的である。

内部で印象的なのは、八角形の大きな断面の木材の使い方だ。まるで民家の土間から見上げたような木の量感が強すぎて、一見バランスを狂わせているように思えたが、木のもっている生命力をダイレクトに子供に伝えようとした意図は感じ取ることができる。もちろん大きな空間を柱なしで架構するのに、この断面は有効に働いている。そして建具や腰壁の程良いスケールの操作によって、空間的に良いまとまりをつくりだしている。


自然の中で、自らも環境に負荷をかけない姿勢が貫かれている。シンプルな熱空気集熱型のパッシブシステムは、保育園という施設の利用を考えたとき、最適なシステムだろう。屋根面でのデザイン的な処理も丁寧だ。

園の周囲に設置された、不要になった農具や工具を使ったりサイクルアートはとても楽しく私たちを迎えてくれた。環境に対する優しさと、自然の中で子供たちの自由な創造性を育むこの園の姿勢を良く表わしていると思った。

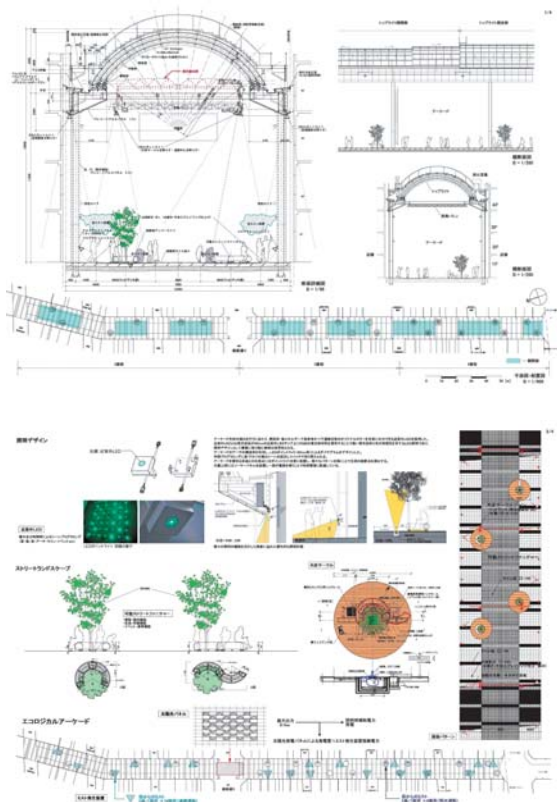
(元倉 眞琴)



「熊本市下通 2・3・4番街アーケード」

 kumamoto artpolis

事業主 ■ 熊本市下通2・3・4番街商店街振興組合
 設計者 ■ 上窪哲也建築計画事務所
 施工者 ■ 武末・さとう建設工事共同企業体
 所在地 ■ 熊本市下通
 竣工年月 ■ 平成21年5月
 用途 ■ アーケード
 構造 ■ S造
 階数 ■ 地上1階
 建築面積 ■ 5,126.81㎡
 延床面積 ■ 5,568.07㎡

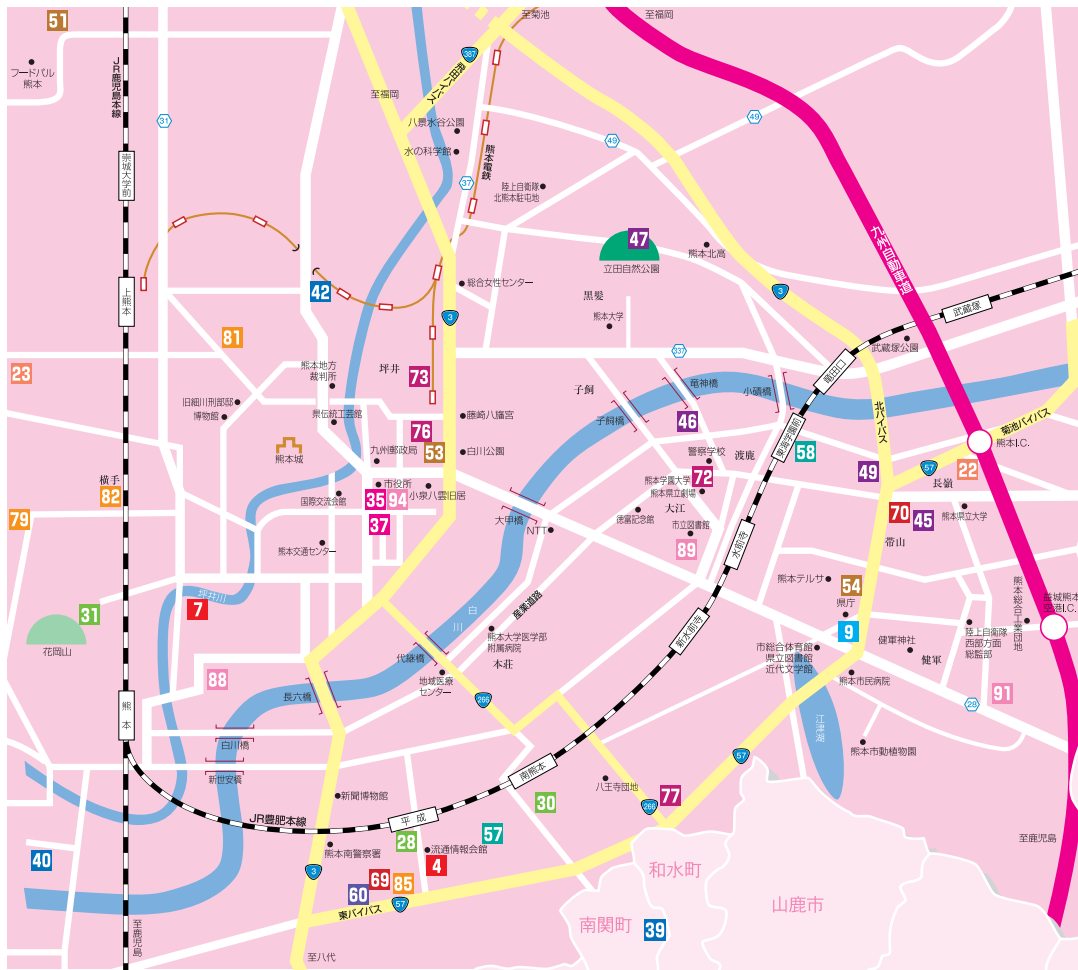


現地審査の前夜、下通アーケード街を散歩した。連休中のためか大勢の人通りがある。グループで歩いている若者達、半円のベンチに座って休憩している母と子、ウインドウショッピング中の初老の紳士、お使いに急ぐエプロン姿の給仕係、多くの人達が様々な目的でこの町を訪問している。見上げると高い位置に夜空を映したヴォールト天井が見え、その下でブルーグリーンのLEDがパターンを形作りながら点滅していた。翌日は雨天のために、残念ながら可動屋根の操作は出来なかった。しかし他に類例を見ないスケールの、直径15m強の円が内接する大空間は、開放的で想像以上に居心地が良い。屋根が大きいので空が広く、明るさを強く感じるために、アーケード街にありがちな圧迫感や閉塞感は全くない。既存の柱梁のメインフレームを残して耐震補強したアーケードの掛替え事業だが、以前より約3m高くなったのが効いている。店舗の華やかさを演出しつつ滑り難い本磨き石材のスクラッチ加工やストリートファニチャーの開発、子供達も喜ぶミストの清涼感の演出、営業中は店舗の光を優先し閉店後は歩行者の安全のために暗がり無くす照明計画、上通と軽い連続感をもたらすウッドサークルなど、きめ細かな気配りが施されている。

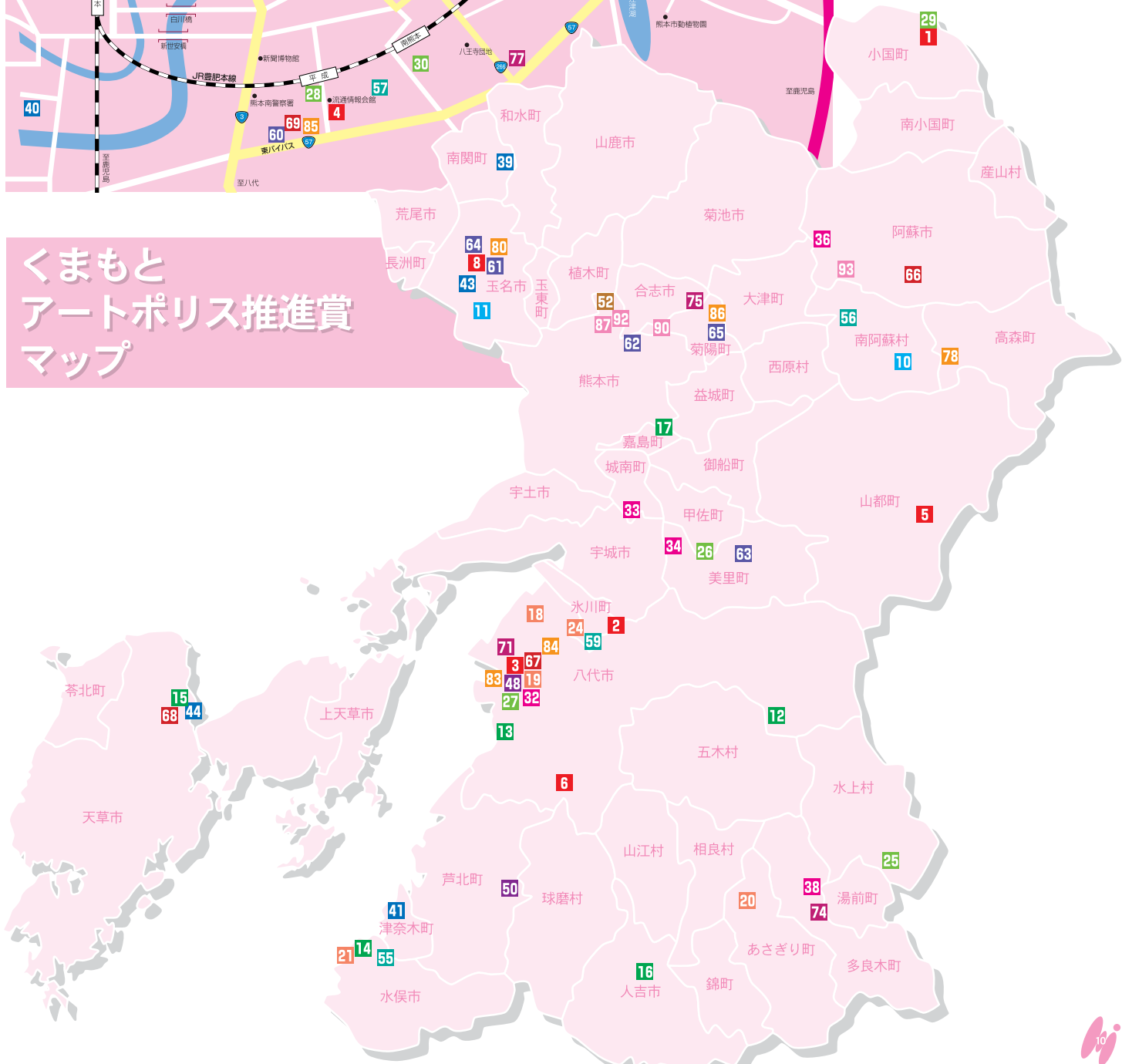
工事を始めたら想定外の基礎部の劣化が発見され、調査や補強のために工事期間の延長を余儀なくされたという。店主にとっては追加工事費と相まって、死活問題であったに違いない。利害関係の様々な調整や煩雑な手続きなど、商店街の皆さんの忍耐と努力なしにはあり得ない事業である。結果として市民に愛される街となれば、苦勞も報われることだろう。

(武田 光史)





くまもと アートポリス推進賞 マップ



受賞作品一覧 くまもとアートポリス推進賞(第1回～第14回)

第1回 1995年度

- ◆: 推進賞 ◀: 推進賞選賞
- ①: 所在地
②: 事業者
③: 設計者
④: 施工者



- ◆1 小国町立西里小学校
- ①: 阿蘇郡小国町
②: 小国町
③: 木島安史十株式会社計画・環境建築
④: 株式会社橋本建設



- ◆2 東陽村石匠館
- ①: 八代市東陽町
②: 八代市(旧東陽村)
③: 木島安史十株式会社計画・環境建築
④: 株式会社盛建設



- ◆3 八代広域行政事務組合 消防本部庁舎
- ①: 八代市
②: 八代広域行政事務組合
③: 株式会社伊東豊雄建築設計事務所
④: 大日本土木株式会社、他



- ◆4 株式会社野田市兵衛商店 流通団地営業所
- ①: 熊本市
②: 株式会社野田市兵衛商店
③: 株式会社ワークショップ
④: 株式会社小竹組



- ◆5 清和物産館
- ①: 上益城郡山都町
②: 山都町(旧清和村)
③: 株式会社石井和絨建築研究所
④: 株式会社日動工務店



- ◆6 荒瀬ダムポートハウス
- ①: 八代市坂本町
②: 八代市(旧坂本村)
③: 桂英昭十AIR
④: 山口建設株式会社、他



- ◆7 出田眼科病院
- ①: 熊本市
②: 医療法人出田会 出田眼科病院
③: 株式会社NTTファシリティーズ九州支店一級建築士事務所
④: 株式会社鴻池組



- ◆8 尚玄山荘
- ①: 玉名市
②: 有限会社有明総業
③: 株式会社竹中工務店九州支店設計部
④: 株式会社竹中工務店九州支店

第2回 1996年度



- ◆9 社会福祉法人慈愛園 ノーマンホーム
- ①: 熊本市
②: 社会福祉法人慈愛園
③: 一級建築士事務所かわつひろし建築工房
④: 安藤建設株式会社九州支店



- ◆10 阿蘇白水温泉「瑠璃」
- ①: 南阿蘇村
②: 南阿蘇村(旧白水村)
③: 杉本洋文/株式会社計画・環境建築
④: 住友建設株式会社九州支店、他



- ◆11 ふるさとセンター-Y・BOX
- ①: 玉名市横島町
②: 玉名市(旧横島町)
③: 設計計画・石丸事務所
④: 株式会社多々良、他



第3回 1997年度



- ◆12 久連子古代の里
- ①: 八代市泉町
②: 八代市(旧泉村)
③: 株式会社龍環境計画
④: 有限会社岩崎建設、他



- ◆13 養護老人ホーム 八代市立保寿寮
- ①: 八代市
②: 八代市
③: 株式会社伊東豊雄建築設計事務所
④: 五洋建設株式会社、他



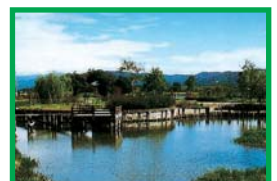
- ◆14 水俣市営洗切団地
- ①: 水俣市
②: 水俣市
③: 株式会社高木富士川計画事務所
④: 若松建設株式会社、他



- ◆15 丸尾焼工房
- ①: 天草市
②: クラフト・ワン株式会社
③: 有限会社上田憲二郎建築事務所
④: 株式会社吉永産業



- ◆16 人吉の舎Ⅱ/平井邸
- ①: 人吉市
②: 平井浩二
③: ばん設計小村事務所
④: 株式会社速水工務店



- ◆17 浮島周辺水辺公園
- ①: 上益城郡嘉島町
②: 嘉島町
③: 九州ランドスケープ
④: 吉川建設有限会社、他

第4回 1998年度



- ◆18 老人保健施設 かがみ苑
- ①: 八代市鏡町
②: 医療法人社団司会
③: 有限会社野中建築事務所
④: 松尾建設株式会社熊本支店



- ◆19 熊本県信用保証協会 八代支所
- ①: 八代市
②: 熊本県信用保証協会
③: 有限会社風設計室
④: 松本建設株式会社



- ◆20 HOUSE:H-M
- ①: 球磨郡あさぎり町
②: 橋爪博
③: 設計組織・RAM
④: 有限会社橋爪建設



- ◆21 水俣市保健センター・水俣市総合もやい直しセンター
- ①: 水俣市
②: 水俣市・財団法人水俣市振興公社
③: 株式会社高木富士川計画事務所
④: 沢井・和久田・高木建設工事共同企業体、他



◆22古閑邸

- ①:熊本市
- ②:古閑和季
- ③:IGA建築計画
- ④:有限会社鶴田建設



◆23聖母の丘

- ①:熊本市
- ②:社会福祉法人聖母会
- ③:株式会社環境開発研究所
- ④:株式会社竹中工務店



◆24宮原町下宮はまどん公園

- ①:八代郡永川町
- ②:永川町(旧宮原町)
- ③:株式会社計画技術研究所九州事務所、株式会社龍環境計画
- ④:有限会社有佐樹花園、他



第5回
1999年度



◆25水上村立湯山小学校

- ①:球磨郡水上村
- ②:水上村
- ③:株式会社川崎設計事務所
- ④:味岡・今村建設工事共同企業体、他



◆26美里町総合交流ターミナル
「石段の里 佐俣の湯」

- ①:下益城郡美里町
- ②:美里町(旧中央町)
- ③:有限会社SDA建築設計事務所
- ④:株式会社さとうベネック熊本支店



◆27植柳新町公民館
(地域学習センター)

- ①:八代市
- ②:植柳新町町内会
- ③:みかんぐみ
- ④:株式会社米本工務店、他



◆28シルワ・エッセ

- ①:熊本市
- ②:森上孝雄
- ③:有限会社ロクス
- ④:株式会社岩永組



◆2950M一棟の森美術館

- ①:阿蘇郡小国町
- ②:吉村郁夫
- ③:桂英昭+AIR
- ④:有限会社鳩野建設



◆30宮崎耳鼻科

- ①:熊本市
- ②:宮崎代介
- ③:かわつひろし建築工房
- ④:株式会社岩永組



◆31矢野邸

- ①:熊本市
- ②:矢野敏之
- ③:森繁・建築研究所
- ④:株式会社レキセイ



第6回
2000年度



◆32やつしろハーモニーホール

- ①:八代市
- ②:八代市
- ③:株式会社桜樹会・古川建築事務所
- ④:株式会社銭高組九州支店、他



◆33城南の舎

- ①:下益城郡城南町
- ②:小材健治・小材美佐
- ③:ばん設計小材事務所
- ④:株式会社山口工務店



◆34美里町福祉保健センター
「湯の香苑」

- ①:下益城郡美里町
- ②:美里町(旧中央町)
- ③:有限会社SDA建築設計事務所
- ④:株式会社岩永組、他



◆35ネクステージビル

- ①:熊本市
- ②:株式会社鶴屋百貨店
- ③:有限会社美創建築デザイン研究所
- ④:株式会社建吉組、株式会社美創



◆36熊本YMCA阿蘇キャンプ
メインホール

- ①:阿蘇市
- ②:熊本YMCA
- ③:有限会社風設計室
- ④:株式会社岩永組



◆37セカンドサイト

- ①:熊本市
- ②:丸紅不動産有限会社
- ③:株式会社アーキグラム
- ④:清水建設株式会社九州支店、有限会社サンワ工務店



◆38霧の斎場

- ①:球磨郡多良木町
- ②:有限会社岡部麗香園
- ③:設計組織・RAM
- ④:光進建設株式会社



第7回
2001年度



◆39荻原九州

- ①:玉名郡南関町
- ②:株式会社荻原製作所
- ③:清水建設株式会社一級建築士事務所
- ④:清水建設株式会社九州支店



◆40K. Residence

- ①:熊本市
- ②:川津貴治
- ③:森繁・建築研究所
- ④:株式会社岩永組



◆41つなぎ美術館

- ①:葦北郡津奈木町
- ②:津奈木町
- ③:株式会社NTTファシリティーズ
- ④:ス九州支店一級建築士事務所株式会社植村組、他



◆42稗田の舎

- ①:熊本市
- ②:津嘉山毅
- ③:ばん設計小材事務所
- ④:光進建設株式会社



◆43ギャラリーのある舎

- ①:玉名市
- ②:大仁田信一
- ③:有限会社倉田設計
- ④:有限会社第一新陽建設



◆44chase

- ①:天草市
- ②:山下廣子
- ③:有限会社現代環境十有限会社ロクス
- ④:野上建設株式会社



◆45キューネット社員寮「希翔館」

- ①:熊本市
- ②:株式会社キューネット
- ③:株式会社北山創造研究所十株式会社K計画事務所
- ④:五洋・酒井建設工事共同企業体

第8回
2002年度



◆46久野邸

- ①:熊本市
- ②:久野啓介
- ③:久野啓太郎十一級建築士事務所ヒマラヤ
- ④:株式会社岩永組



◆47立田山野外保育センター「雑草の森」

- ①:熊本市
- ②:社団法人熊本市保育園連盟
- ③:田崎順ニラドスケーププロジェクト株式会社
- ④:株式会社置坂建設



◆48八代の町屋

- ①:八代市
- ②:坂井和子
- ③:ばん設計小材事務所
- ④:有限会社楠元建設



◆49いのうえデンタルクリニック

- ①:熊本市
- ②:井上公敏
- ③:西山英夫建築環境研究所
- ④:株式会社置坂建設



◆50大野温泉センター

- ①:豊北郡芦北町
- ②:芦北町
- ③:株式会社日建設計
- ④:サンエー・松下建設工事共同企業体、他

第9回
2003年度



◆51熊本保健科学大学

- ①:熊本市
- ②:学校法人银杏学園
- ③:株式会社佐藤総合計画
- ④:りんかい日産建設株式会社



◆52I-HOUSE

- ①:熊本市
- ②:井手秀逸
- ③:横山俊祐十長野聖二・人間建築探検處
- ④:株式会社三津野建設



◆53熊本市現代美術館

- ①:熊本市
- ②:熊本市
- ③:株式会社梓設計
- ④:鹿島・戸田・増永・多々良・勝本建設工事共同企業体



◆54UEDA. Residence

- ①:熊本市
- ②:上田幸一、上田秀一
- ③:有限会社森繁・建築研究所
- ④:株式会社山口工務店

第10回
2004年度



◆55九州新幹線 新水俣駅

- ①:水俣市
- ②:鉄道・運輸機構九州新幹線建設局
- ③:株式会社西都交通建築事務所十渡辺誠アーキテクトオフィス
- ④:奥村・白石・光進特定建設工事共同企業体



◆56S.W.H

- ①:阿蘇郡南阿蘇村
- ②:下村初幸
- ③:有限会社ロクス
- ④:株式会社橋本建設十有限会社サンユー電気設備



◆57田迎の家

- ①:熊本市
- ②:三原 紀
- ③:有限会社U L 設計室
- ④:中村建築工房



◆58東海大学付属第二高等学校

- ①:熊本市
- ②:学校法人東海大学
- ③:大成建設株式会社
- ④:株式会社豊工務店



◆59ひだまりのまち B⁴

- ①:八代郡永川町
- ②:宮原町B街区優良建築物等整備事業組合
- ③:有限会社F U設計
- ④:株式会社多々良

第11回
2005年度



◆60K-house in 近見

- ①:熊本市
- ②:古閑靖浩
- ③:西山英夫建築環境研究所
- ④:株式会社東陵建設



◆61高瀬蔵

- ①:玉名市
- ②:玉名商工会議所
- ③:株式会社連合設計社市谷建築事務所
- ④:植野建設株式会社



◆623 Towers

- ①:合志市
- ②:上田敏雄、上田民子
- ③:菊池建築工房
- ④:有限会社高木ハウジング



◆63美里町立中央小学校体育館

- ①:下益城郡美里町
- ②:美里町
- ③:有限会社SDA建築設計事務所
- ④:株式会社高橋建設



◆64玉名温泉つかさの湯

- ①:玉名市
- ②:司観光開発株式会社
- ③:清水建設株式会社九州支店・株式会社フィールドフォー・デザインオフィス
- ④:清水建設株式会社九州支店



◆65堀田眼科医院

- ①: 菊池郡菊陽町
- ②: 堀田明弘
- ③: グローバル アーキテクトチーム
ガット
- ④: 清水建設株式会社九州支店

第12回
2006年度



◆66阿蘇の舎

- ①: 阿蘇市
- ②: 松浦朝海
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 株式会社山口工務店



◆67nina Dental Clinio

- ①: 八代市
- ②: 川村順子
- ③: 高安重一・遊佐公一/有限会社アー
キテクチャー・ラボ
- ④: 株式会社日動工務店



◆68西の久保公園

- ①: 天草市
- ②: 天草市
- ③: 株式会社大揮環境計画事務所
- ④: 有限会社天祐建設工業所他



◆69“B”-studio

- ①: 熊本市
- ②: 戸次和弘
- ③: 一級建築士事務所ヒマラヤ
ガット
- ④: 株式会社九州建設



◆70永田歯科

- ①: 熊本市
- ②: 医療法人永田歯科クリニック
- ③: アクティブ デザイン
- ④: 株式会社日動工務店

第13回
2007年度



◆71H-court

- ①: 八代市
- ②: 林田聖二
- ③: 岩瀬隆広建築設計
- ④: 株式会社米本工務店



◆72熊本学園大学14号館
(60周年記念会館)

- ①: 熊本市
- ②: 学校法人熊本学園
- ③: 野中建築事務所
- ④: 熊谷・小竹・酒井建設工事共同企
業体



◆73城下町の住宅

- ①: 熊本市
- ②: 下田誠也
- ③: 塩塚隆生アトリエ
- ④: 株式会社建吉組



◆74多良木町交流館石倉

- ①: 球磨郡多良木町
- ②: 多良木町
- ③: かちゃあデザイナー一級建築士事
務所
- ④: 肥後環境株式会社、他



◆75グリーン、ツィードアンドカンパニ
アジアエンジニアリングセンター

- ①: 合志市
- ②: グリーン、ツィードアンドカンパニ
ジャパン株式会社
- ③: 萩野アトリエ
- ④: 株式会社建吉組



◆76AI mall

- ①: 熊本市
- ②: 萩原秀道
- ③: アクティブデザイン
- ④: 酒井建設工業株式会社



◆77コンパスポイント本社ビル

- ①: 熊本市
- ②: 有限会社コンパスポイント
- ③: 株式会社agアーキテクト
- ④: 株式会社建吉組

第14回
2008年度



◆78障害者多機能型施設
高森寮

- ①: 阿蘇郡高森町
- ②: 社会福祉法人立正福祉会
- ③: 有限会社中川建築設計事務所
- ④: 株式会社橋本建設



◆79B-house in 島崎

- ①: 熊本市
- ②: クリストファー ブッシュ
大村美和
- ③: 西山英夫建築環境研究所
- ④: 株式会社富坂建設



◆80ジャングルジムの家

- ①: 玉名市
- ②: 後藤真一郎、後藤祥子
- ③: 村田建築設計所
- ④: 有限会社村田工務店



◆81Chro-e#01(クロイー#01)

- ①: 熊本市
- ②: 町頭憲太郎
- ③: ラッツ・アーキテクト株式会社
- ④: 株式会社夢工房 和樂



◆82ガーデンコートゆうかり

- ①: 熊本市
- ②: 株式会社熊本マタニティーサー
ビス
- ③: ばん設計小材事務所
- ④: 株式会社松島建設



◆83松木運輸株式会社

- ①: 八代市
- ②: 松木運輸株式会社
- ③: 上村設計工房
- ④: 直営



◆84しらさぎおざや

- ①: 八代市
- ②: 株式会社シラサギ
- ③: 有限会社倉田設計
- ④: 五徳創建株式会社、村上造園



◆85済生会熊本病院
外来がん治療センター

- ①: 熊本市
- ②: 社会福祉法人恩賜財団
済生会熊本病院
- ③: 株式会社東畑建築事務所
- ④: あおみ建設株式会社



◆86barn renovation

- ①: 菊池郡菊陽町
- ②: 赤峰洋次
- ③: 坂本達哉建築設計事務所
- ④: 有限会社ウエダホーム

第15回くまもとアートポリス推進賞

募集要項

趣旨

熊本県は、環境デザインに対する関心を高め、都市環境並びに建築文化等の向上を図るとともに、世界への文化情報発信地「熊本」を目指し、後世に残り得る文化的資産を創造するため、「くまもとアートポリス」を推進しています。

この事業の目的を達成するため、コミッショナーから国の内外より推薦を受けた設計者を参加事業主に紹介するプロジェクト事業や各種のイベント、広報事業等を行い、さらに幅広く県民の皆様の御理解を深めていただくため、平成7年から「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を行っています。

この賞は、質の高い優れた建造物等を顕彰することにより、県民の環境デザインに対する意識の高揚と都市環境並びに建築文化等の向上を目指し、併せて豊かな地域づくりを図ることを目的としています。

表彰対象

概ね5年以内に竣工(改造、改修、修復を含む)した熊本県内の建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等(くまもとアートポリス参加プロジェクト及び県の施設を除く)とします。

選考基準

本賞の選考は、建造物等の企画、設計、施工及び施設の利用について、次に示す評価のポイントをもとに総合的に評価します。

評価のポイント

- ① デザインが優れているもの
- ② 新しい技術的提案や工法の改善が行われているもの
- ③ 良好な施工が行われているもの
- ④ ひとや環境に優れた配慮がなされているもの
- ⑤ 施設の活用に創意工夫がみられるもの
- ⑥ 維持・管理が良好なもの
- ⑦ 地域づくりに寄与しているもの
- ⑧ 長いスパンのライフサイクルに配慮されているもの

賞

賞は「くまもとアートポリス推進賞」、「くまもとアートポリス推進賞選賞」とします。

事業主(必要に応じて管理者を含む)、設計者及び施工者に知事が表彰状を贈ります。

応募資格

自薦、他薦を問わず、どなたでも応募できます。

選考委員(50音順)

北野 隆(熊本大学名誉教授)

武田光史(日本工業大学教授、㈱武田光史建築デザイン事務所代表)

土田 隆(熊本日日新聞社文化部次長)

轟 多朗(デザイントドロキ、熊本県文化協会理事)

古谷誠章(早稲田大学教授、スタジオナスカ代表)

星子邦子(オフィスホシコ主宰)

元倉真琴(東京芸術大学教授、㈱スタジオ建築計画代表)

選考経過

募集	平成21年 7月21日(火)～ 9月11日(金)	応募件数36件
書類選考	平成21年10月 6日(火)	
現地審査	平成21年11月23日(月)～24日(火)	現地審査件数13件
最終選考	平成21年11月24日(火)	推進賞4件、推進賞選賞4件
表彰式	平成22年 3月29日(月)	

熊本県

土木部建築課

〒862-8570

熊本市水前寺6丁目18番1号

TEL.096(333)2537

FAX.096(384)9820

<http://www.pref.kumamoto.jp/site/artpolis/>



くまもとアートポリスのマーク

シンボルマークは3つの楕円と1つの小さな丸で構成されています。

3つの楕円は、左から順に「地域/世界」「くまもとアートポリス/熊本」「ひと/地域」が、互いにつながっていることをあらわします。楕円の傾きは地球の地軸の傾き(太陽を中心とする公転軌道に対する地球の軸/南北軸の傾き)と同じ23.5度です。

シンボルマークは、くまもとアートポリスの目標「地球と対話、地球とネットワーク」に対応しています。くまもとアートポリスは、地域に生活する人々と対話しながら様々な建造物や環境を創造します。同時にこのような活動は、常に地球規模のネットワークとも繋がり、世界的な環境への配慮や地域文化的な広がりをもっていることを示しています。